

事務事業評価シート (評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	幼稚園施設保全整備事業					②事業番号	7108
③事業類型	5. 普通建設事業			④開始年度	昭和 36 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	○ 条例	○ 規則	要綱	○ 計画等	その他	法令等の名称 泉南市立幼稚園条例他
⑦実施手法	直営	全部委託	○ 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	4	目	3	細目 1
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
教育部	教育総務課						

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 幼稚園施設	① 幼稚園施設数	園
② 園児	② 園児数(5月1日現在)	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
幼稚園施設の機能確保、保持のために必要な保全及び保育教育環境改善に向けた修繕、工事などを行う。 また、旧幼稚園施設の維持・保全を行う。	① 修繕件数	件
	② 工事件数	件
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
幼稚園施設を保全、改善することで、幼稚園運営の支障解消及び良好な幼児教育環境の提供を図る。	① 保全整備執行率	%
	計算式 (修繕費決算額÷修繕費予算額)×100	
	② 工事実施率	%
	計算式 (工事完了件数÷工事予定件数)×100	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
幼稚園施設を保全、保育教育環境改善を進めることで、「幼稚園教育要領」に基づいた安全で計画的な環境をつくり出し、望ましい方向に向かって幼児の発達を促すことができ、幼児教育の充実に繋がる。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	3 子どもが豊かな人間関係と学ぶ喜びを育むまちをめざします
	施策中	1 幼児教育の充実
	施策小	3 保育教育環境の整備

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	幼稚園施設数	園	2	2	2	2	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	園児数(5月1日現在)	人	367	348	338	303	—	
活動指標①	修繕件数	件	13	11	11	12	—	—
活動指標②	工事件数	件	2	2	0	0	—	
活動指標③								
成果指標①	保全整備執行率	%	97.26%	97.49%	99.99%	98.25%	—	—
成果指標②	工事実施率	%	100.0%	100.0%	—	—	—	
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.29	0.34	0.41	0.41		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.05	0.10	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	2,515	2,963	3,129	3,129		令和元年度の総事業費の増は、備品購入費の増額。その他特定財源については、水なす基金からの繰入金。
	直接事業費	千円	1,067	1,960	1,758	3,036		
	総事業費	千円	3,582	4,923	4,887	6,165		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	200	0	0		
	一般財源	千円	3,582	4,723	4,887	6,165		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	幼稚園の設置による。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	平成23年度からの2園化に伴い、負担は軽減されている。 今後は、経過年数などにより補修箇所が増加していくものと考えられるため、随時発生する補修箇所等の解消に努める。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ ア ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から) ↓	
＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—